

各校の顧問におかれましては、令和3年1月6日付け「県立学校における令和3年1月7日以降の部活動の取扱いについて（通知）」は既に確認いただけているものと想います。その「別紙」をまとめると下記の通りになります。

〔以下、別紙まとめ〕

実施の判断基準

- ・新型コロナウイルス感染症等に係る部活動に対する県の通知
- ・各競技団体からのスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

判断する流れ

- ・専門部で協議する
- ・開催について事務局に報告
- ・参加校へ連絡（事務局（HP）専門部（参加校へ））

判断する時期

- ・開催日の2週間前
- ※開催すると最終判断した場合でも、急な中止又は延期をすることがある

延期について

- ・学校の行事等を配慮し1ヶ月後までとする

開催方法

1. 競技期間・競技方法・参加人数等を再度見直し、必要最低限のエントリー数とする。
2. 競技役員・大会補助員について、必要最低限の人数とする。
3. 観客については、学校関係者・保護者等の人数について、会場規模から制限を行う。
※追記 1・2月開催競技は全て無観客開催とする。部員については認める。但し、会場によって部員の人数を制限することがある。
4. 原則、開・閉会式は実施しない。
5. 選手、審判をはじめ大会に参加するものすべてに大会当日に検温を義務付け37.5℃以上ある場合は参加させない。
※追記 大会2週間前以降に濃厚接触者の連絡を受けた場合は、当該者の出場は認めない。

適切な感染防止策の実施

1. 入退場時の制限や誘導
2. 待機場所等における密集の回避
3. 手指の消毒
4. マスクの着用
5. 室内の換気

その他

- ・中止に伴う上位大会の出場校等の決定については、客観的事実に基づき適切な決定を行うこと。また、このことを事前に参加校に伝えておくこと。
- ・会場への移動や宿泊は各学校で責任を持って集団感染のリスク（3密の条件）を避けること。
- ・参加選手は待機時はマスクを着用する。顧問、役員はマスクを着用する。

1・2月に実施される県新人大会の各競技では上記にもとづく対応を行うこととなっております。なお、報道等で承知されている通り、ラグビー・サッカー・バスケットボールの各競技は大会実施、バレーボールは大会中止となりました。

このような状況を受けて、バドミントン専門部としても、例年4月に実施される県春季大会にむけて「通知」及び「別紙」に基づいて準備をしておく必要があるものと思います。

例年ならば、県春季大会は3月中旬～下旬頃にはHPに「大会要項」が提示され、4月上旬までに「参加申込み」、4月第3週の（土）（日）に「大会開催」となるのが大まかな流れとなっております。そのため、3月頃に先生方の意見をいただいてまとめていては間に合わないものと思いま

す。そこで現在の状況で「通知」及び「別紙」の条件の範囲内で、安全面を第一に、かつ従来の大会の形式に出来る限り近い形式で大会について計画（案）を作成しました。

◎「通知」及び「別紙」にもとづく令和3年度県高等学校春季選手権大会専門部計画（案）

開催方法

1. 競技期間・競技方法・参加人数等を再度見直し、必要最低限のエントリー数とする。
 - 2日間は変更しない（できない）が第2日程を設定。また、男女の試合時間を完全分離。
 - ベスト8以上の試合のみ正式ルールで、それ以外の試合は全て簡易ゲームで行う。
 - 県新人大会でも行った「換気+練習+試合」のサイクルで大会を行う。
 - 例年の各校ダブルス4組及びシングルス4人（県新人大会のシード枠を除く）のエントリー数〔総試合数520〕を、各校ダブルス3組及びシングルス3人（またはダブルス4組及びシングルス2人）（県新人大会のシード枠を除く）のエントリー数〔総試合数390〕に変更する。※詳しくはタイムテーブル（案）D4・S2の場合のものをご覧ください。
 - なおエントリー数変更に伴う、県高総体シードポイント参考対象の変更は下記を参照。
2. 競技役員・大会補助員について、必要最低限の人数とする。
 - 大会補助員は「なし」とし、初回戦等は「相互審判」とする。
3. 観客については、学校関係者・保護者等の人数について、会場規模から制限を行う。
 - ※追記 1・2月開催競技は全て無観客開催とする。部員については認める。但し、会場によって部員の人数を制限することがある。
 - 「無観客」を原則とし、上記と4月時点の条件に基づいて対応する。
4. 原則、開・閉会式は実施しない。
 - 開・閉会式は実施しない。
5. 選手、審判をはじめ大会に参加するものすべてに大会当日に検温を義務付け37.5℃以上ある場合は参加させない。
 - ※追記 大会2週間前以降に濃厚接触者の連絡を受けた場合は、当該者の出場は認めない。
 - 上記と4月時点の条件に基づいて対応する。

適切な感染防止策の実施

1. 入退場時の制限や誘導 → 会場入口での名簿等の提出
2. 待機場所等における密集の回避 → 朝から全選手がそろいかつ練習する形式はできない。男女の試合時間及び試合場所を完全に分散する
3. 手指の消毒 → 体育館入口及びフロア入口に消毒液を準備
4. マスクの着用 → 試合中の選手以外は全てマスク着用
5. 室内の換気 → 別紙タイムテーブルにあるように、1試合毎に換気時間を設定する

その他

- ・中止に伴う上位大会の出場校等の決定については、客観的事実に基づき適切な決定を行うこと。
 - 両日程においても県春季大会が実施できなかった場合は、県新人大会の団体ベスト8以上を県高総体のシード校とする。また、県新人戦個人戦ベスト4以上を学校枠以外の別枠として出場を認める（組み替え等があった場合は不可はそのまま）。

日程について

第1日程を令和3年4月17日（土）18日（日）、第2日程を令和3年5月1日（土）2日（日）として準備する。第1日程が開催できない場合、第2日程で開催する。両日程ともに開催できない場合は開催中止。

大会会場 ※現在のところ両会場とも予約可能です。

第1日程はシーハット大村(メイン・サブ)[予約済] + 大村高校第二体育館 [1日限定の予定]

第2日程は長崎県立総合体育館(メイン・サブ)[現在のところ予約可能]

タイムテーブルのおおまかな流れ

初日は女子の試合から開始し、女子のベスト8以上はサブアリーナへ、その時点で男子を入館させ、男子の試合を行う。二日目も女子の試合から開始し、同時に男子の前日の残りの試合をサブアリーナで行う。女子のベスト8以上の試合の段階でサブアリーナへ移動。その時点で男子のシングルス試合を開始する。

本来であれば顧問会を開催するなどの方法で、各校の先生方の意見を伺い、内容を討議したいと所ですが、現在の状況では残念ながら実行することができません。そこで文書を読みいただき、かつ下記のアンケートに回答いただく形で、先生方のご意見を集約することで、専門部としての方針を決定したいと思います。下記のアンケート(1)～(3)及びその他の欄に回答いただき、令和3年2月9日(火)までに下記宛に送信ください。

(1) 試合日程 ※いずれかに○を付ける

()・・・①第1日程＝令和3年4月17日(土)18日(日)のみで開催。第1日程で開催できない場合は開催を中止する。

()・・・②第1日程＝令和3年4月17日(土)18日(日)、第2日程＝令和3年5月1日(土)2日(日)の両方で準備し、第1日程で開催できない場合は大会を延期し第2日程で開催。第2日程で開催できない場合は開催中止。

()・・・③第1日程及び第2日程いずれであっても、従来の方法(エントリー数・試合形式等)で大会を行うことができないならば、開催を中止すべきである。

(2) エントリー数等 ※いずれかに○を付ける

()・・・①各校ダブルス4組・シングルス2人+県新人戦ベスト4以上のシード選手(県高総体シードポイント対象はダブルス3組・シングルス2人に変更)

()・・・②各校ダブルス3組・シングルス3人+県新人戦ベスト4以上のシード選手(県高総体シードポイント対象は従来通りダブルス2組・シングルス3人)

()・・・③各校ダブルス2組・シングルス3人+県新人戦ベスト4以上のシード選手(県高総体シードポイント対象は従来通りダブルス2組・シングルス3人)

(3) 試合形式等 ※いずれかに○を付ける

()・・・①15点×3セット(21点で打ち切り)の簡易ゲームとし、準々決勝以降は正式ルールとする。

()・・・②全ての試合を15点×3セット(21点で打ち切り)の簡易ゲームとする。

(4) その他 大会日程・エントリー数・試合形式等及びその他で意見・アイデアがあれば記述。

送信者

高等学校 男子・女子バドミントン部 顧問

※○を付ける

送信先 長崎県立長崎北高等学校 高体連バドミントン専門部 小松 まで

FAX 095-844-5119 ※送信表等は不要です。そのままお送り下さい。